

小金井市役所 10月31日(木) 9:15~11:30

部会への若干のメモ

—アドバイザーより

喜多明人(早稲田大学)

はじめに

- 1 子ども施策・計画策定にさいしての基本的な視点
 - ①総合性(子どもの権利の総合的保障)→縦割り行政の壁をこえる
 - ②継続性(乳幼児~若者支援)・安定的な施策推進 ⇒12月市長選
参考・「子ども・若者支援」分科会の設置
(全国自治体シンポ来年1月26日立川市)
 - ③重層性(国・東京都・小金井市・民間団体・保護者等の重層的支援)
- 2 いくつかの論点の整理
 - 子どもの権利擁護委員制度(子どもオンブズ)
実効性を担保する基本条件 一条例による総合化(縦割りの克服)
(実効性=調査・調整機能、政策提言機能等)
 - 早期教育全盛期(保護者調査)ゆえに一子どもの居場所の確保
子どもの「やってみたい」のサポート、安心、自分らしく居られる場
 - 子ども施策独自の評価手法のさらなる検討
施策実施の検証評価、市民参加による調査手法など

以上